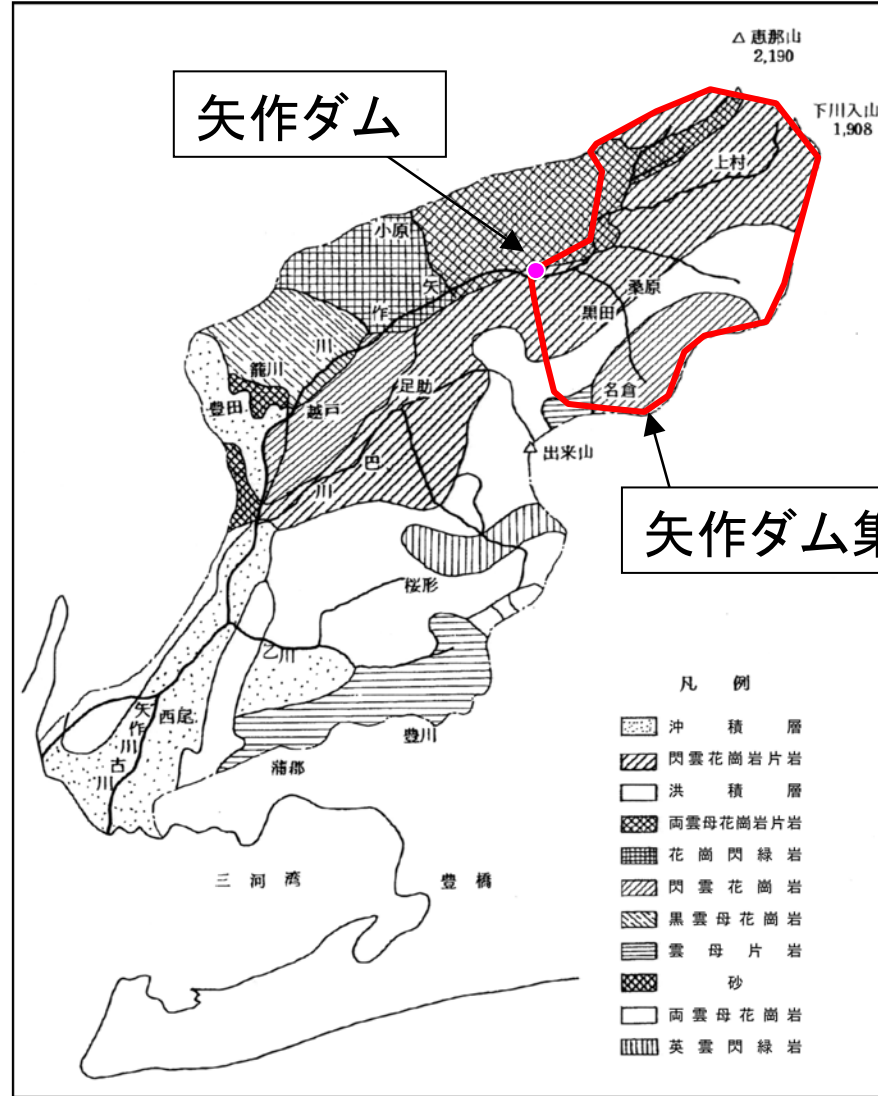


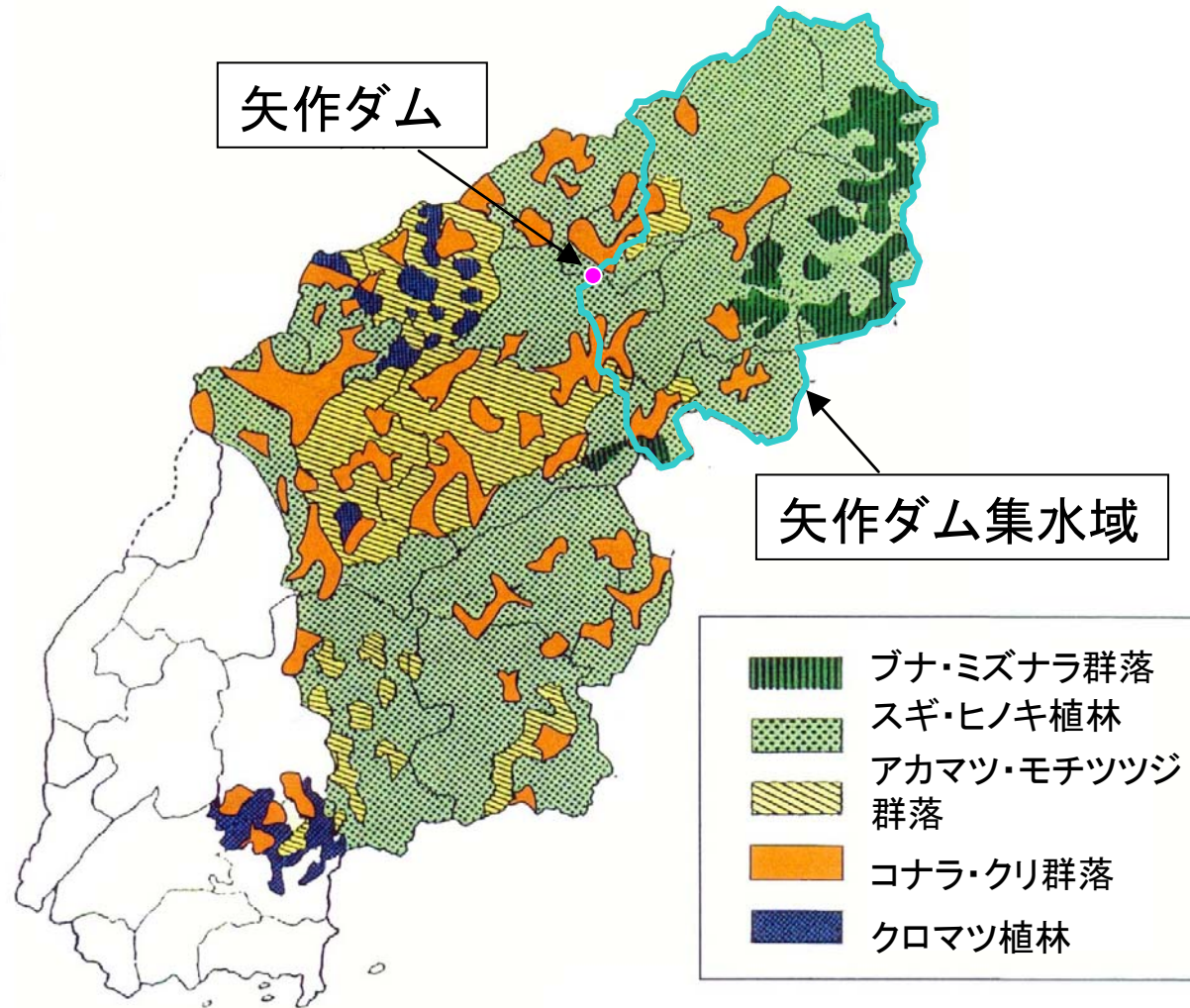
# — 自然環境対策 —



# 矢作川流域の地質



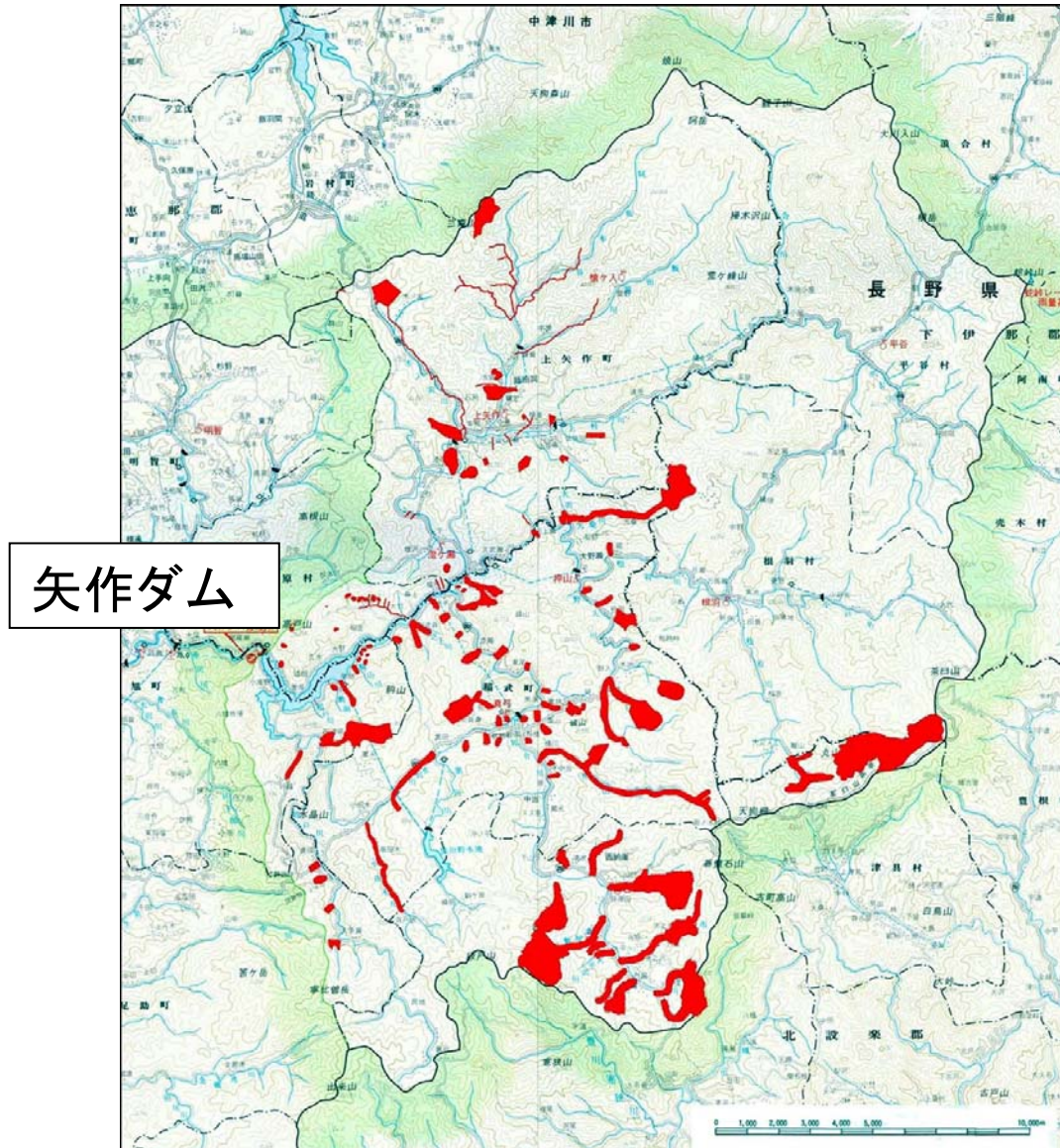
# 矢作川流域における山地の植生



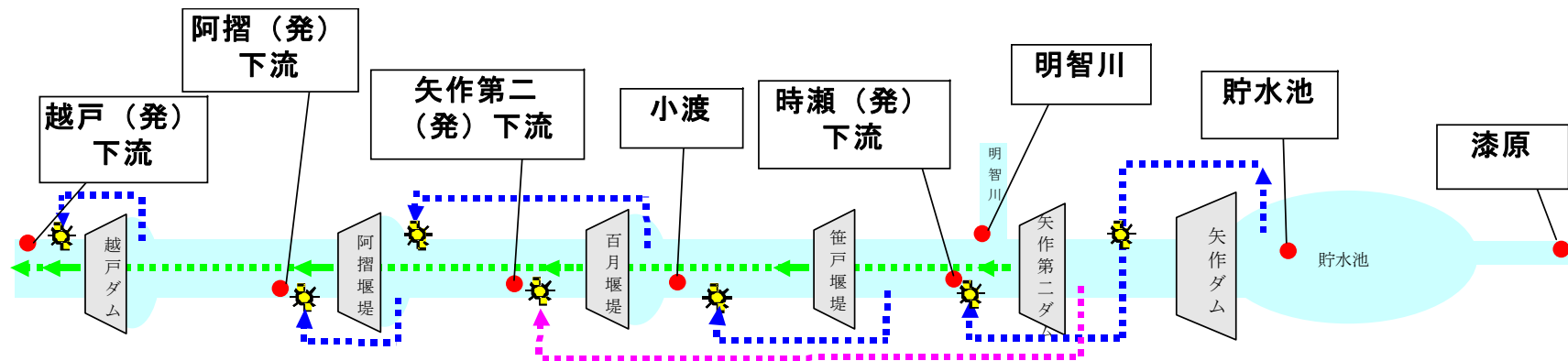
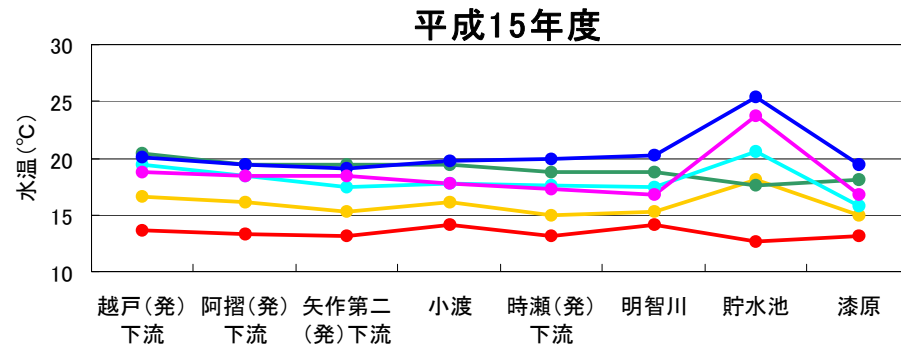
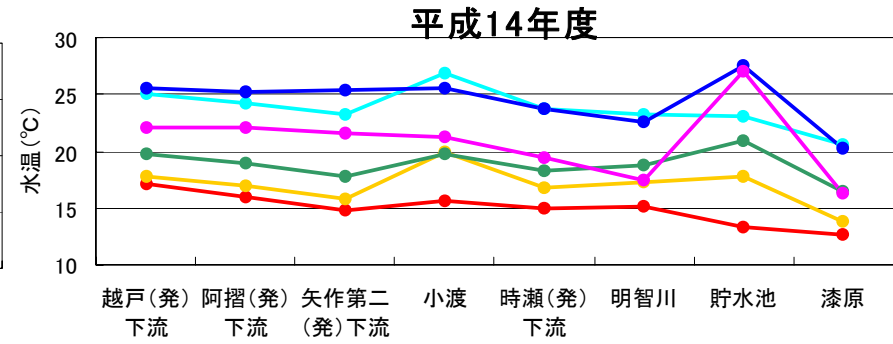
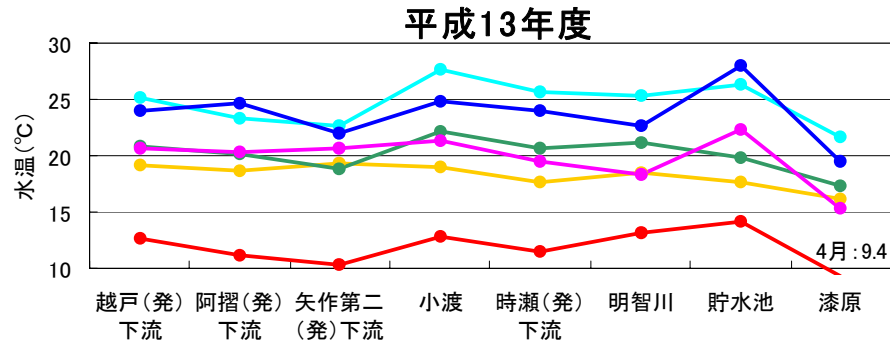
# 流域別荒廃地面積(国有林)

荒廃 地面 積順	流域	荒廃地 面積率 (%)	荒廃 地面 積順	流域	荒廃地 面積率 (%)
1	天竜川	4.1	11	富士川	0.4
2	大井川～天竜川	2.7	12	北伊豆地域	0.4
3	安倍川	2.6	13	宮川	0.2
4	木曾川	1.9	14	豊川～矢作川	0.2
5	大井川	1.9	15	庄内川	0.1
6	愛知県境～鈴鹿川	1.6	16	鈴鹿川～宮川	0.1
7	富士川～安倍川	1.1	17	鈴鹿川	0.0
8	矢作川	1.0			
9	南伊豆地区	0.5			
10	天竜川～愛知県境	0.5			

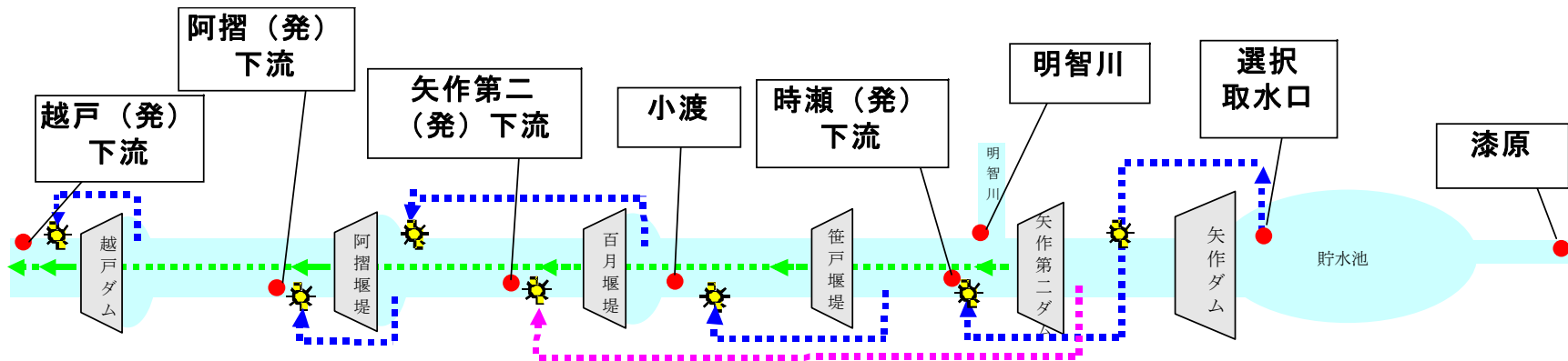
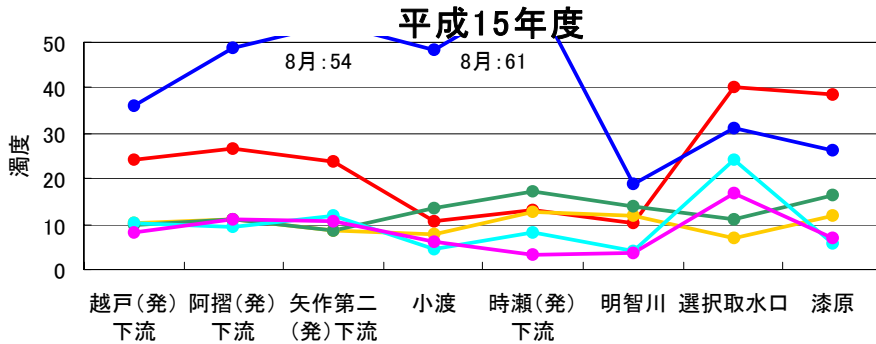
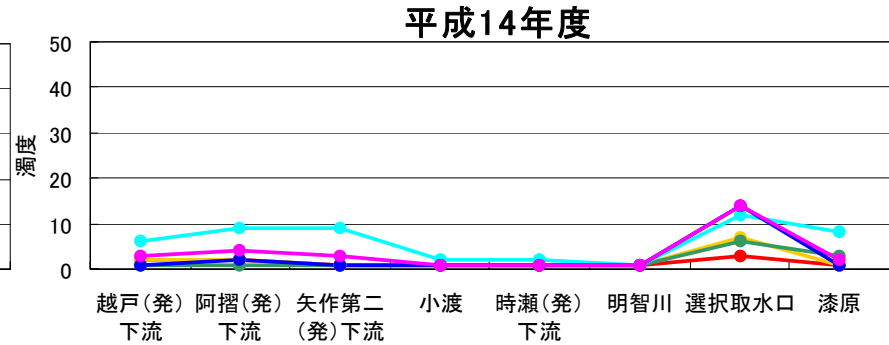
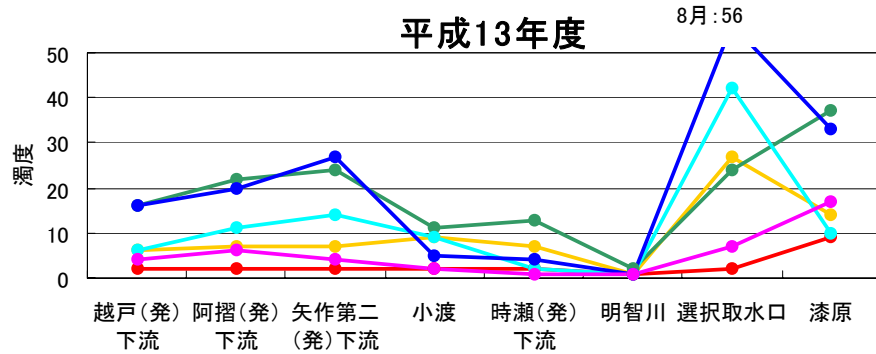
# 矢作ダム集水域の砂防区域指定状況



# ダム上下流の水質調査結果(水温)



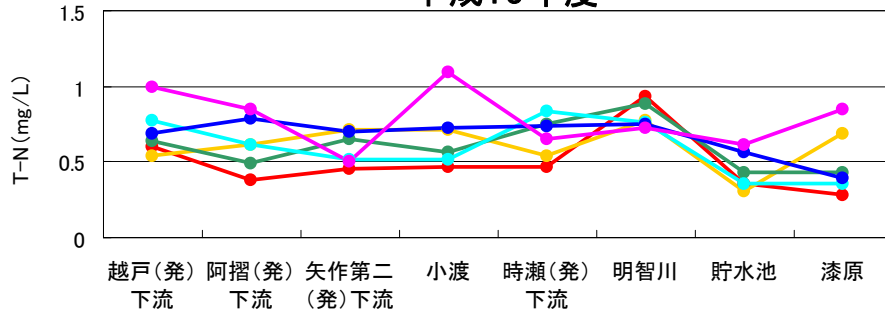
# ダム上下流の水質調査結果(濁度)



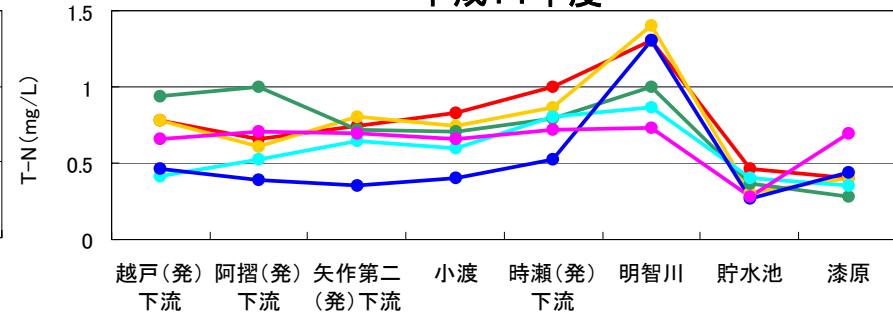


# ダム上下流の水質調査結果(T-N)

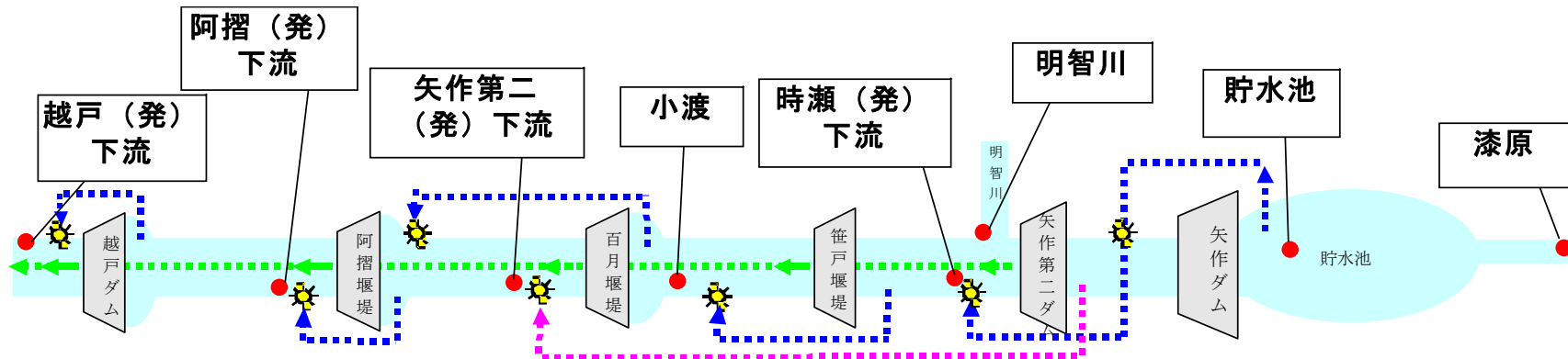
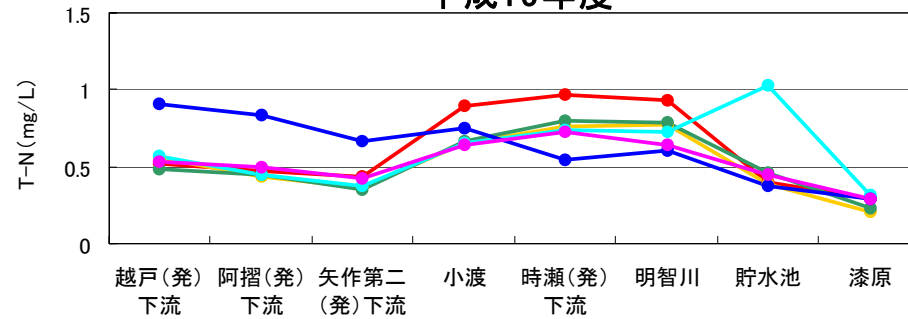
平成13年度



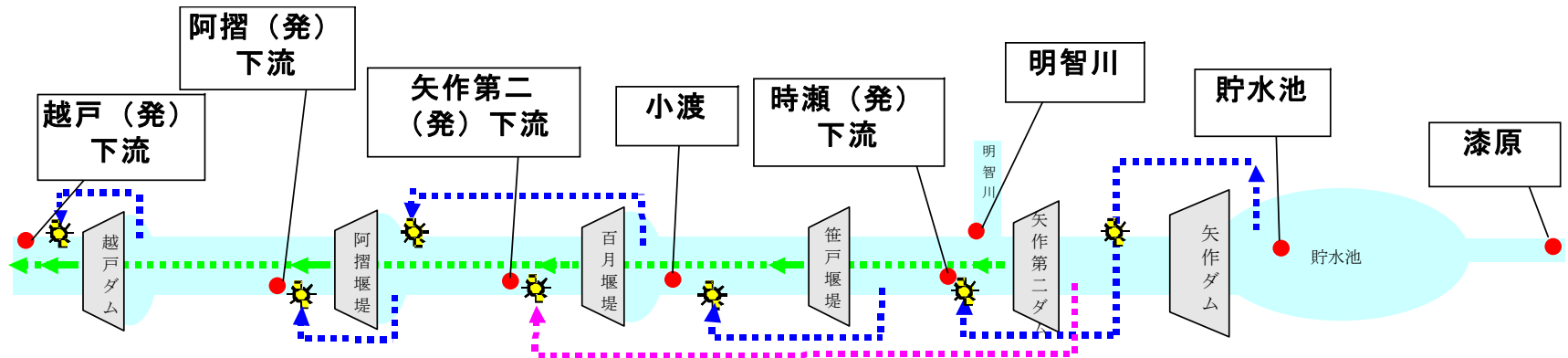
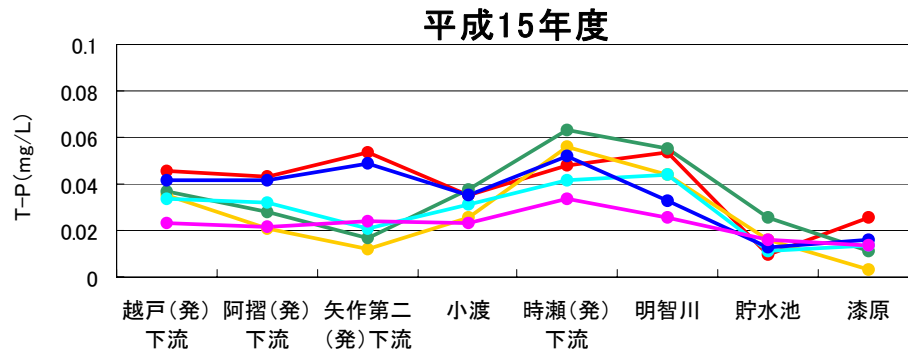
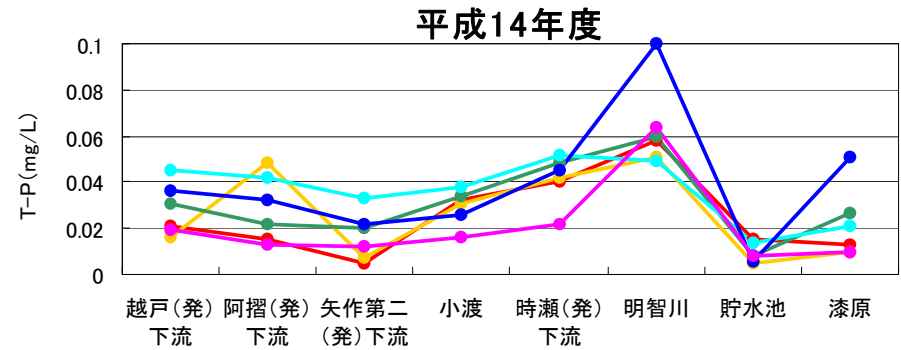
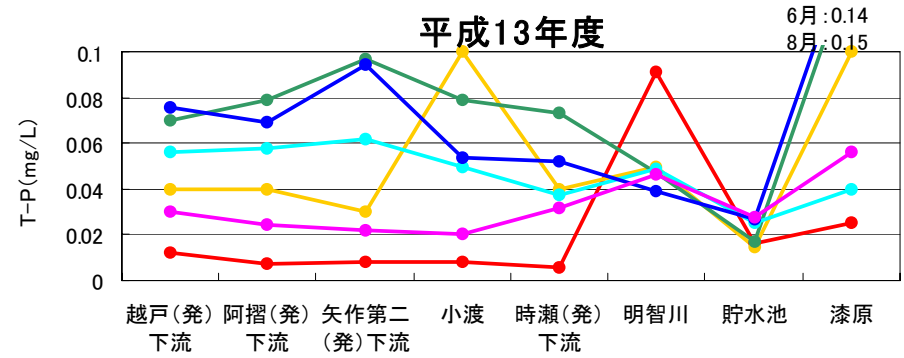
平成14年度



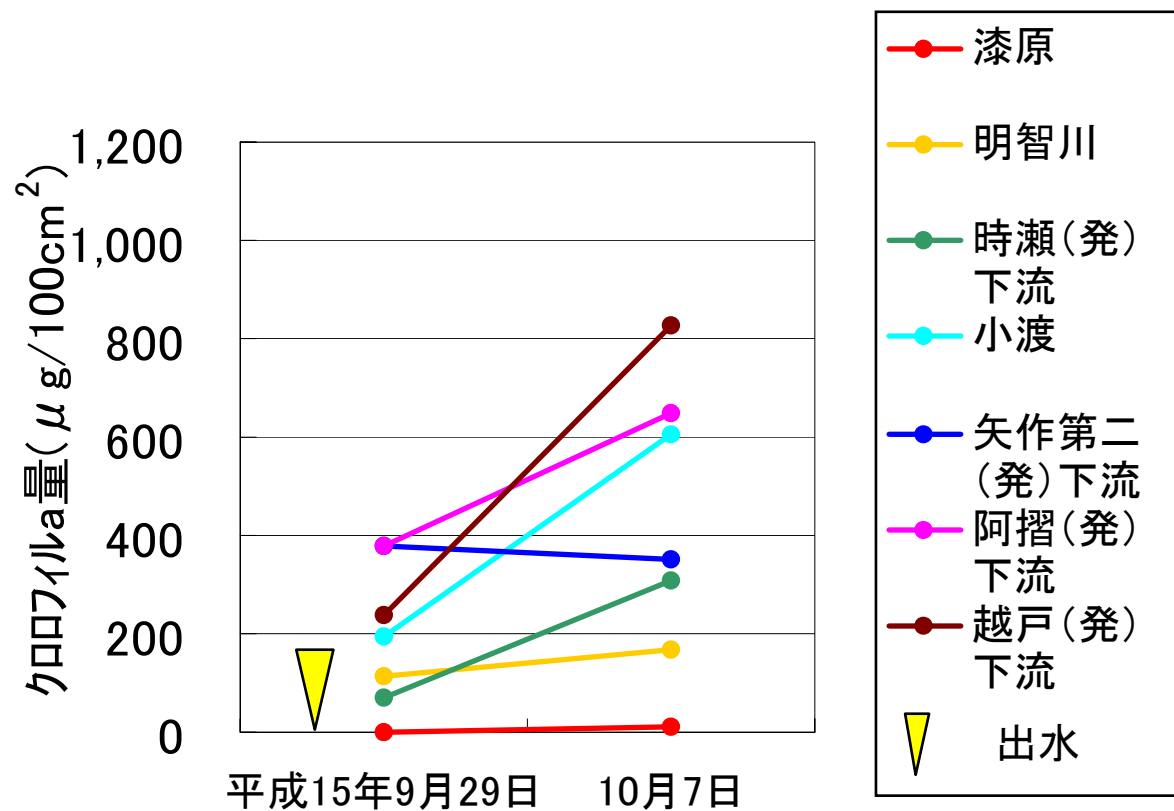
平成15年度



# ダム上下流の水質調査結果(T-P)

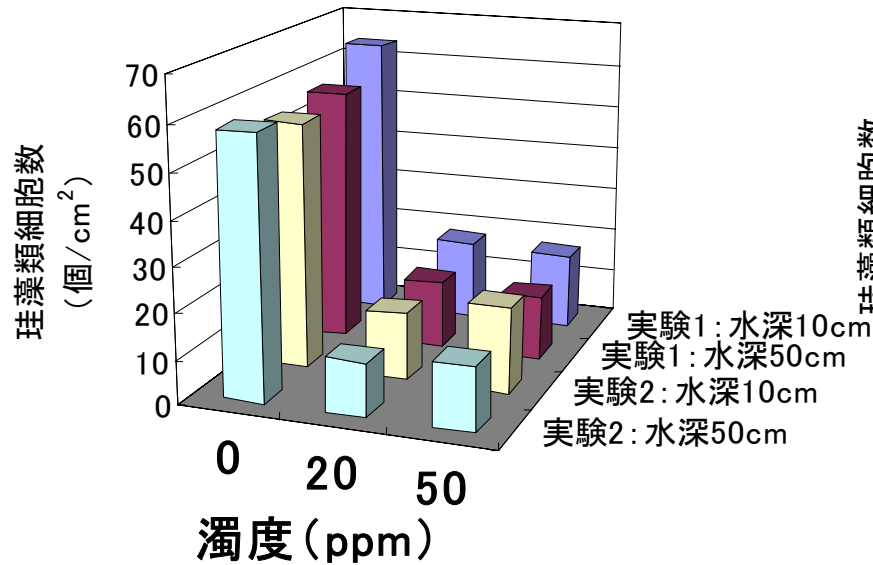


# 出水後の付着藻類量の変動

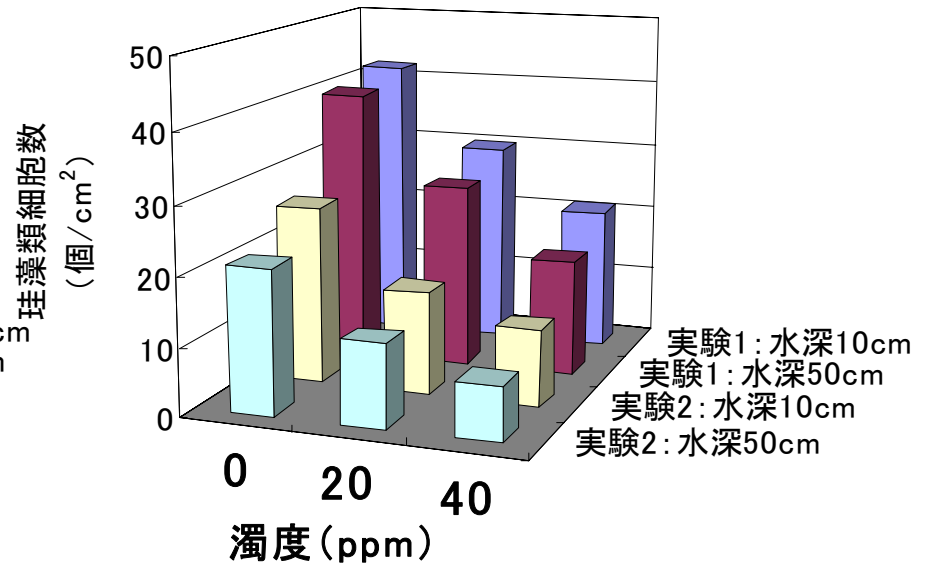


# 付着藻類増殖実験結果 (岐阜水試、1981、1982)

10日後の付着珪藻類の細胞数

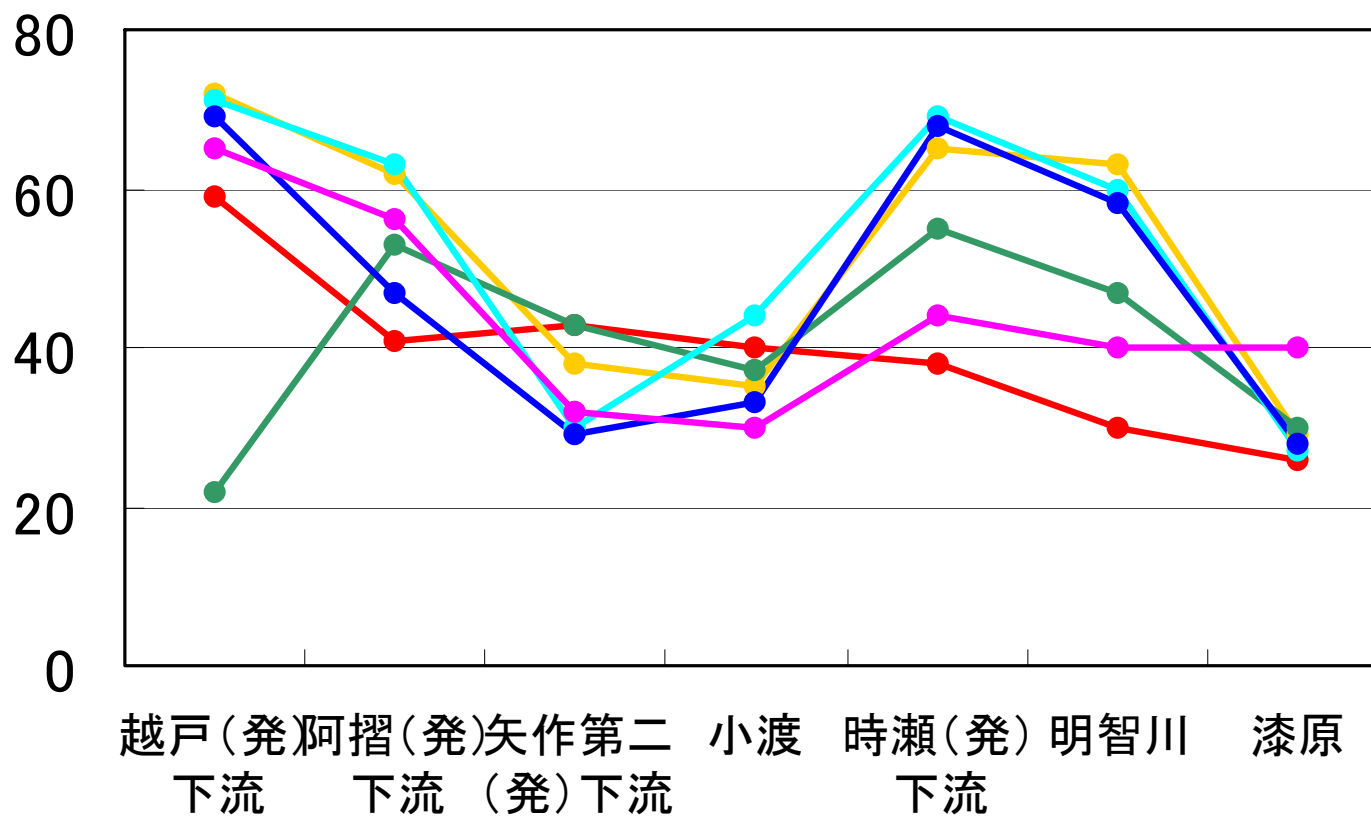


5日後の付着珪藻類の細胞数



# 地点別強熱減量

平成14年度



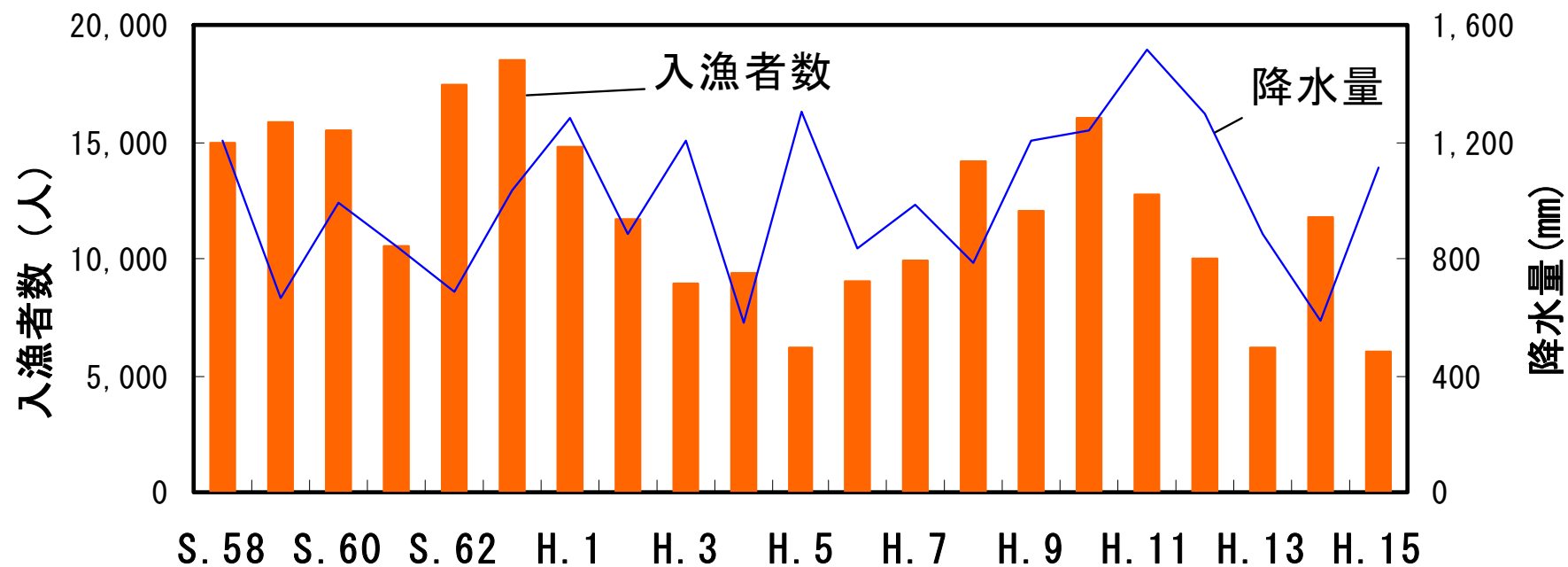
# 矢作ダム下流の河床状況概要

調査項目	平成14、15年度の調査結果	矢作ダム下流の河床状況
河床地形	下流の淵が大きく掘り下げられており、河床地形は変化している。	河床攪乱は低下していないと推察される。
河床材	2ヶ年ともダム直下で砂がなく、浮石が多い。 上流、明智川、明智川流入点より下流では砂が多い。	ダム直下で土砂の供給が減少して粗粒化がおこっていると考えられる。
付着藻類	2ヶ年とも遷移初期に優占する珪藻綱が多い。	河床攪乱は低下していないと推察される。
底生動物	ダム直下で礫が多い河床環境を反映した種が出現している。	ダム直下で土砂の供給が減少して粗粒化がおこっていると考えられる。

## アユに対する濁りの影響

- ダム下流域で観測される濁度条件下では、濁りが斃死の直接原因となる可能性は少ない。
- 幼魚・成魚（長期）→SS20mg/Lで成長阻害

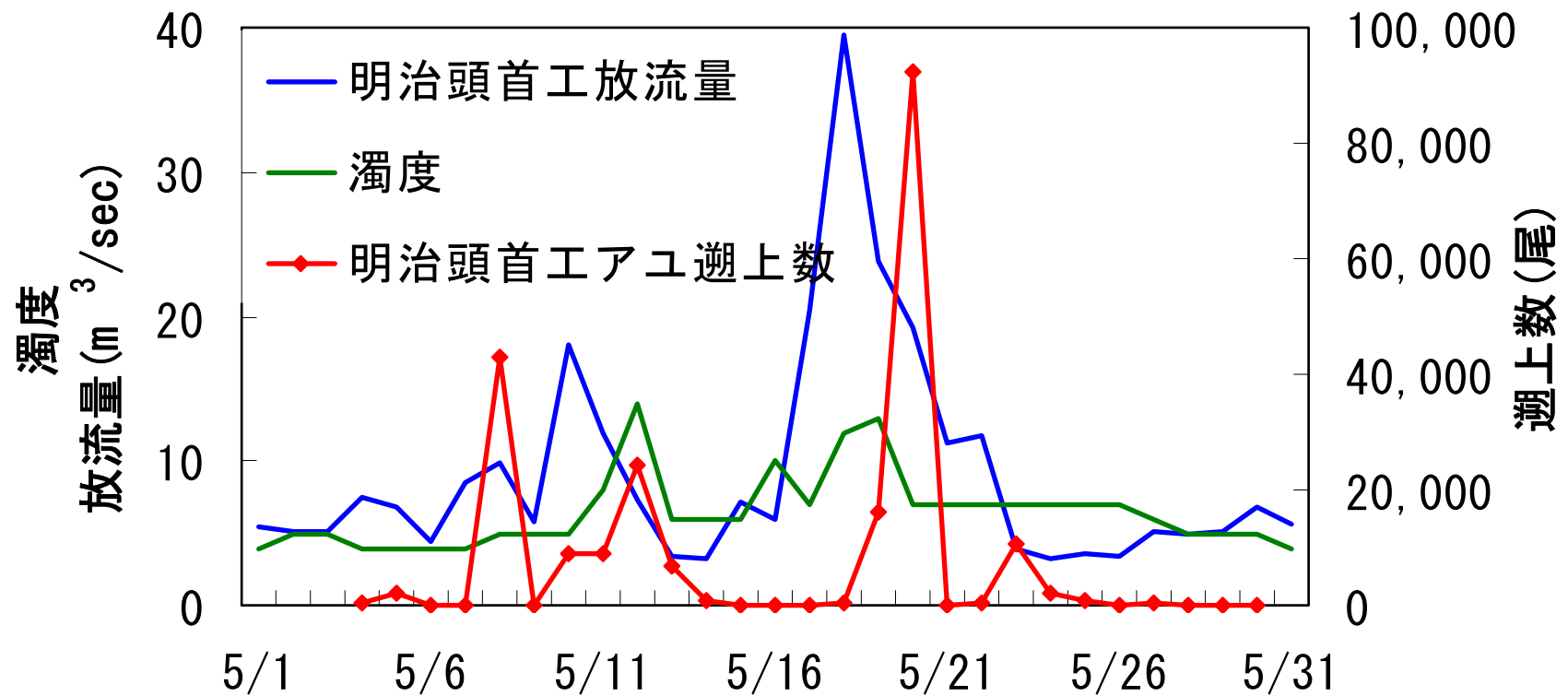
# 区間別入漁者数





# アユの遡上数と放流量・濁りとの関係

平成14年度



# アユ漁獲量と濁りの関係(平成14年度)

